



人とのふれ合いを大切に

新年度がスタートして、2週間余りが経ちました。各学級ごとクラス内でのルール作りや、お互いを知る機会を増やすための取り組みも終え、本格的な学習がスタートしています。義務教育における小学校期の6年間は長いようですが、あっという間に過ぎてしまいます。私たち学校もそうですが保護者の方も含め、卒業時の子供たちの成長した姿をイメージしたり、中学校を卒業したときの姿までイメージしたりして、日々、子供たちと関わっていきたくて考えています。

1年生も少しずつ学校生活に慣れ、日々の学校生活を楽しんでいるようにも感じます。保育園の時とは違い、時間で動かなければならなかったり、全員で同じことに取り組まなければならなかったり、なかなか自分の思うようにいかないことが多くあります。特に人との関わりが難しくなり、低学年期においては周りとの関係がうまく作れず、自分のことしか見えないことが多くあります。それも、中学年、高学年と経験や、一緒に学ぶことで徐々に周りのことが見えるようになっていたり、周り自分との関係を考えたりできるようになっていきます。学校生活は「小さな社会生活を学ぶ場」ともいわれています。学校は教科の学習だけではなく、友好的な人間関係の構築に向けて学ぶ機会として大きな役割があります。大明小学校では321名の子供たちが一緒に生活しています。いじめは絶対にあってはならないことです。多くの人たちが一緒に生活するということは、少なからず「摩擦」はでてきます。私たち大人もお互いの考えや立場を慮り、「落とし所」を考えながら人間関係を築いています。子供たちの安心、安全は最優先されるべきですが、余りにも大人が先回りし過ぎることは良いことではない時があります。私たち大人は、しっかりと見守るという立場で子供たちを支えていきたいですね。

命を守ること

今年に入ってから山林火災が多く報道され、私たちの生活にも少なからず影響がありました。また、毎年世界各地でも多くの災害が起こっています。身近な交通事故もそうですが、自分の意図していない災害に巻き込まれることもあります。そんな時にどう行動するのか、どう対応するのかは普段から考えておかねばなりません。



学校教育においても、災害や事故から身を守るための取り組みを行っています。避難訓練や交通安全教室、そして防犯訓練等その内容や取り組みは多岐にわたっています。もちろん日頃よりその都度、教室での指導も行っています。過日、私たち職員は、心肺蘇生法について講習会を実施しました。万が一の事態に備えて毎年講習会を開催していますが、各御家庭においても、「自分の命は自分で守る」ことや「困ったときは助けを呼ぶ」等、緊急時における行動についてお子さんと一緒に考えていただきたいと思います。尊い命をみんなで守りましょう。

